

古希を祝つて35名が集まる

大学18回生



千葉や名古屋、奈良などから大分へ集結

昭和45年卒業の大学18回生の古希記念同期会が、平成29年9月27日、大分オアシスタワー本テルで開催された。九州はもとより千葉、名古屋、奈良等から

35名が集合した。受付で長岡孝一君作成の卒業時の顔写真を添付した胸名札を渡され、47年前の自分を振り返っていた。

記念撮影後、中村司君の開会の言葉で式が始まり、続いて16名の物故者のご冥福を祈り、黙祷。幹事を代表して橋本啓君の歓迎の挨拶と四極会活動の現況報告があり、松尾全治君

(千葉県)の発声で乾杯。美味しい料理とお酒に歓談の輪も拡がった。衛藤晟一参議院議員の衆議院解散を翌日に控えての政界秘話を始め、多くの参加者の近況報告があつた。皆さん退職後も生き生きと生活している様子がうかがえた。校歌、寮歌、逍遙歌を高らかに齊唱。出田章君(福岡県)の音頭で万歳を三唱し、益々の健勝を誓い散会。二次会はスナックへ。27の席が満席となり、思い出に残る楽しい歓談の夜となつた。

翌日は大分東急ゴルフクラ

ブで16名が参加しコンペが開催された。初秋の陽を浴びながらの和気藹々の楽しいゴルフとなつた。新規購入のアイアンがまだしつくりこないと言いながら、奥憲治君がネット73・4で見事な優勝、優勝候補の一人に當時挙げられる阿南正美君が準優勝を獲得した。

最後になりましたが、四極会事務局から清酒「四極」の差し入れ、ありがとうございました。県外からの参加者のお土産とさせていただき、大変喜ばれました。

▼参加者（敬称略）

清松優一、松尾全治（千葉県）
鳥越幸雄（横浜市）福永弘幸（名古屋市）羽矢寧典（奈良市）高橋聰子（尼崎市）原野稔美（広島市）内海祐次（丸亀市）出田章、田羽多健二、野崎紘史、野田俊和、野正雅広、山岡繁美（福岡県）牧英慈（長崎県）守田哲夫（佐賀県）鉄井博、沼口秀一、門前義則（宮崎県）阿南正美、衛藤晟一、荻本智昭、奥憲治、奥一美、柴尾敏夫、高野雅之、長岡孝一、中村司、中山卓久、橋本啓、林賢治、藤井正三、松井一博、宮成公則、望月良造（大分県）

（幹事 中山卓久 記）